

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 27 年度第 3 回スポーツ推進審議会
開催日時	平成 27 年 12 月 22 日(水) 18 時 30 分～19 時 45 分
開催場所	高松市役所 3 階 32 会議室
議 題	議題 高松市スポーツ推進計画(案)の変更について、及び、 答申(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	大西委員、十河委員、田村委員、西山委員、野崎委員、 松本委員、渡辺委員(欠席4名)
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課および 連絡先	スポーツ振興課 839-2626

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

- (1) 野崎会長あいさつ
 - (2) 事務局から会議成立の報告をした後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開を決定した。
 - (3) 事務局から議題「高松市スポーツ推進計画(案)」について、前回会議以降の変更点について説明した。
 - (4) 答申(案)について説明した。
 - (5) 事務局からその他「今後のスケジュール」について説明した。
- 委員から意見を聴取した。
- 主な意見、質疑等は次のとおり。

議 題

議 案

- 高松市スポーツ推進計画(案)の変更について、及び、答申(案)について

【事務局】説明

【E】

推進計画（案）と答申（案）について説明がありました。

まず、推進計画（案）について、いかがでしょうか。修正点が資料1にまとめられています。

14ページ「スポーツ指導者の充実・活用」のうち、「外部指導者の活用」で、教育委員会や企業、大学、・・・も、大学等で良いのではないですか。

【事務局】

先程の大学、・・・も、大学等で良いのでは。については、大学、の後に地域密着型トップスポーツチーム等とあるので、そこで補完するのでいかがでしょうか。

【E】

特にこだわる内容ではないです。

【C】

心身について、これは逆ではなかったですか。

【事務局】

前回ご指摘いただいた事の本質は、心身と身心がいろんなページに出ていて統一できていなかったことから、どちらかに統一するということであったため、今回心身に統一をしております。

【E】

C委員さんにお聞きします。12ページの「障害者スポーツの推進」【新規】で入っている部分についてはこれでよろしいですか。

前は後ろの方でバリアフリーに触れていましたが、今回はここで集約されています。そういうことを踏まえて

【C】

はい。

【E】

トップスポーツチームとの関係というところは、前回の会では協議していないですが、内容的に、文言的にも特に問題ないように思います。

【D】

スポーツ推進委員の位置づけが、例えば基本方針4で、スポーツを推進する中心的な団体として、「高松市体育協会」、「地区体育協会」、高松市体力づくり市民会議、「総合型地域スポーツクラブ」が書かれているが、ここに「スポーツ推進委員」は書かれてない。市民感覚で見れば、スポーツ推進委員は本来スポーツを推進する立場ではないのかと思うので、ここに入れてはどうか。

「支えあおう！みんなのスポーツ」の、「スポーツ推進委員の資質の向上」ではスポーツ推進委員と各団体の両方が書かれているが、「楽しもう！わたしのスポーツ」には書かれていない。というところが気になる。

【事務局】

「楽しもう！わたしのスポーツ」のところで、「スポーツ推進委員」が

入っていないということについては、これがいけないということではなく、書かれている方が流れ的に良いのではないかと。と思いますので、入れようと思いますが、ただし、ここでは団体のくくりで書いていますので、スポーツ推進委員は個人ですので、少し文言を変えて「スポーツ推進委員」が入るように訂正いたします。

なお、ここで御審議いただく時間がないので、会長に一任いただいて、事務局と協議の上「スポーツ推進委員」を盛り込むということによろしいでしょうか。

【D】

中心的な団体という表現をしていますから、そうすると今のような表現になってしまい、スポーツ推進委員は何なのか。市民から見るとそうなる。「スポーツ推進委員」を盛り込むことで、市民からは「スポーツ推進委員」が見えてくるのではないかと思います。

【E】

訂正するにあたって、文言がどうの、ではないですが、前回の議論の中で、スポーツ推進委員は地域のお世話だけでなく何かと忙しく、なかなか引き受け手がない。という話がありましたが、スポーツ推進委員さんの役目を整理していただいて、内実のところを御検討いただきたいと思います。

【E】

「楽しもう！わたしのスポーツ」のところで、～ウォーキング、レクリエーション活動だってスポーツ。無理をせず、気軽にスポーツを楽しみましょう。～という文言がとってもいいと思いますが、前回スポーツの定義に関して議論はなかったですか。

基本的にはここに書かれている内容である

スポーツの定義とは、本計画において「スポーツ」とは、目的を持って、活動可能な範囲で体を動かすことを意味し、勝敗を競う競技性の高い運動だけでなく、散歩やジョギング、軽い体操、レクリエーション活動など、健康増進のための軽度の運動、身体を使った運動をすべて含めた広範囲の活動を定義とします。※見るスポーツ、支えるスポーツの重要性もいわれています。

以上で問題ないです。

【G】

大変良くまとまっており、特に申し上げることはないですが、最初から読んでみて、国の施策や県の施策、また、市の施策に沿って計画を立てていこうという中で、基本目標として成人の週1回以上のスポーツ実施率を上げていこうというのはわかります。次に、じゃあ、そのために何をしていくのかということで5つの基本方針を作っていますが、まず「見つけよう」→次に「集まろう」→「支えあおう」→「楽しもう」→そして「活かそう」という流れでスポーツ実施率を上げようという筋もよくわかります。

ただ、例えば実際「見つけよう！」を展開した時に、重点的にやっていくことや具体的な方向性がもう少しはっきりわかるようなものがあればよかったのかなあと感じました。

【E】

重点項目とか年次計画などが必要ではないか。というようなご意見であったと思いますが、推進計画に関しては、どこかに漏れがあるとだめなので、どうしてもこのような網羅的な感じになってしまう。

もう一つは、創造都市推進ということで、国の方で地域創生に向けての事業だとか、高松市もまとめていかななくてはならない中で、何らかの貢献ができるとか、市もこれから重点的に取り組まなくてはならないことを、スポーツだけでなく幅広く練り上げている段階でしょうし、そういうところとうまくつながって、身になるものになればいいかなと思います。

また、いくつか上げられている中で大変だろうと思うものは、T A S Sの構築であったり、魅力あるスポーツイベントとかスポーツツーリズムでいうと、「サンポートトライアスロン」であったり、屋島陸上競技場ができたときに「マラソン大会」を開催したり、注目を集めるイベントを市民参加型で開催するなど、市民のスポーツ活動につながるイベントにしなくてはならないほか、地域密着型スポーツと市民とをどうつなげていくか。さらに、障害者スポーツが新規に盛り込まれたので、福祉関係との協力など、数々やっていかなければいけない。

【G】

この計画が出来上がった次の段階になるが、例えば障害者の大会を活発にするために何ができるのか。具体的には、どうやって参加者を増やすのか。応援者を増やすのか。今の段階の話ではないだろうが。必要だと思います。

【A】

今、G委員さんがおっしゃられたのは、23ページの「計画の推進」ということですが、今回計画ができて、次はそれぞれの関係団体との関係や、今までやってきたことを振り返るチェック機能が必要だと思います。

それから、体育協会として課題も与えられていますが、それをどのように進めていくのかも大変重要となってきます。

この計画が計画で終わることがないように、それぞれの関係団体が具現化された項目を作って、何年かに一度見直しを行っていくことが必要ではないかと思います。それが残念なことに、なかなかそこまでできていないのが現状です。

したがって、どのように具現化するのかを当局からご指導いただいて進めていくことが大事だと思います。

また、現在関係団体との連携については業務分担など含め徐々にできてきておりますが、各イベントについては準備に追われる状況です。これからの7年間の計画期間で途中東京オリンピック・パラリンピックもあり、大変スポーツ熱も上がっていくと思われれますので、特にチェックをしっかりとっていくことと、アンケートの結果から、競技力向上というよりは、健康寿命を長くしていこうということに差し掛かっていると思われるので、福祉関係との連携を図っていくことが必要になってくると思います。

まとめますと、推進をしていくための計画的なもの、実際使っていくものが重要だと思います。

【E】

70%という大きな目標を上げていますが、各団体が何をやっていくのかというところが見えてこない、計画が推進されていかないよと言うことですね。

ところが、各団体は年次行事をこなすだけで大変で、振り返る余裕がないのが現状である。

【A】

表紙のところ、「スポーツを」から「スポーツで」に訂正をお願いします。

それから、9ページの（広報たかまつ）との文言がたくさん出てきますが、7ページの「広報たかまつ」のカッコ書きの区別がよくわからないが、どちらが良いのか。

それと、18ページの高松市スポーツ振興事業団ですが、高松市体育協会は正式名称で書かれているので正式名称とするならば、公益財団法人高松市スポーツ振興事業団としてはどうか。

【事務局】

A委員さんのご意見について、もう一度全体で見直していきたいと思いますが、ただ、表紙の「スポーツを」と「スポーツで」の件ですが、私が個人的に読むのは、スポーツを 楽しく かっきあふれる まちづくりにつなげよう でもよいのかなあと思いましたので、もう一度文書事務の専門部署にも確認して整理したいと思います。

【E】

今回、前回からの議論から推進計画の案を取りまとめていただきました、今日の議論の中で一番大きいところは、計画の推進というところで、特に計画の進行管理と書かれており、具体的にどう実施していくのか。ということ事務局でも検討いただき、我々も様々な活動が推進していくように検討していかなくてはならないと思います。

ここまで、推進計画（案）について、いろいろご意見いただいたと思います。

以上で、御承認いただいたものといたします。

【E】

もう一つの議案である、諮問を受けている関係上、答申（案）を資料2のとおり作っています。

内容を確認していただいて、この内容で答申を出してよろしいでしょうか。

では、この内容で御承認いただいたといたします。

【事務局】

今後のスケジュールについて説明

【C】

バリアフリー化は随分進んできたと思いますが、今計画の中四国障害者陸上競技大会を開催することとなっていますが、先日、車いすの方たち（40名くらい）の陸上大会を見たときに、会場には障害者トイレが2か所しかなかったため行列ができ、とてもトイレが足りない状況でした。中には競技開始時間に間に合わない状況にもなっていました。障害

者はトイレと着替えをするため一人5分から10分はかかります。確かに施設々でバリアフリー化、障害者トイレの設置、手すりの設置など設備が整ってきていますが、大きな障害者の大会をする施設であれば、障害者トイレのだけでも4、5か所必要かと思われます。せつかく新しくできた陸上競技場なので、トイレでいやな思いをしてもらいたくないので、中四国障害者陸上競技大会やパラリンピックの事前合宿を誘致するのであれば、設備を整える必要があると思ひます。

【B】

このような推進計画書ができるわけですが、どこまでの人に行きわたって、どのように活用されるのか。せつかく作ったのにお蔵入りしたのでは何にもならない。例えば体協の中でみんなで読み合わせするとか、誰かが熟読してもらえりような冊子にしてほしいので、出来上がった後どのように活用するのかわ審議できればいいかなと思ひ。

【E】

関係諸団体の方々の学習会的な場所て活用するなど、考える必要があると思ひます。

【F】

障がい者スポーツの推進で屋島陸上競技場を利用して行ひ計画になっていますが、聞いた話ですが、屋島陸上競技場のサブグラウンドがクレーとのことですが、タータンにするのかクレーにするのか大きく問題になっているようで、実際、障がい者スポーツ大会を開催するに際しサブグラウンドがクレーでは支障があるのではないか。学校との関係、地元との関係があつて、市も大変だと思ひますが、大きな大会や合宿を誘致するのて、支障が出るのではないか。もう遅いとは思ひますが、是非、タータンに変更できるように検討いただくようこの場を借りてお願いいたします。

【E】

それでは、今回の諮問と答申という形で、市長にこの推進計画（案）をもって答申させていただきます。

【事務局】

あいさつ

【E】

これを持ちまして本日のスポーツ推進審議会を終了いたします。

